

令和2年度 身延高校第2回学校運営協議会 概要報告

日時：令和2年10月12日（月）14：30～17：15

第1部 授業参観（14：30～15：15）

対象授業 1年次「産業社会と人間」（各HR、第1パソコン室）
ライフミュージアム展示

第2部 生徒意見交換会（15：30～16：10） 輝葉館

第3部 協議会（16：10～17：15） 輝葉館

次第 開会

会長あいさつ

校長あいさつ

自己紹介

議事（議長：会長）

- （1）授業参観の感想＜各委員より＞
- （2）意見交換会の感想＜各委員より＞
- （3）学校改善アンケート＜教頭より＞
- （4）授業アンケート＜教頭より＞

連絡

閉会

出席者 委員 学校運営協議会会長 前学校評議員
学校運営協議会副会長 山梨大学教授
PTA会長 [第3部のみ]
同窓会相談役
身延高等学校校長
身延町学校教育課課長
南部町学校教育課課長 [第3部のみ]
早川町学校教育課課長 [第3部のみ]

事務局 身延高校 教頭 事務長 主幹教諭

生徒 各年次2名 計6名 [第2部のみ]

【第2部 生徒意見交換会】

①生徒が日頃思っていることを、身延高校の自慢できるところと身延高校で頑張っていることについて
発言

[発言内容]

◎身延高校の自慢できるところ

- ・総合学科ならではの「産業社会と人間」という授業があり、クラスメイトとコミュニケーションを取りながら取り組んでいる。
- ・朝の挨拶、学校内で元気が良い挨拶が交わされている。
- ・クラスや年次を超えて全校生徒が深く関わりを持つことができる。
- ・教員と生徒の距離が近く質問等がしやすい。

◎身延高校で頑張っていること

- ・挨拶を徹底する。
- ・勉強と部活動の両立。
- ・きれいな学校にするためのアイデアを出す。
- ・進路実現のための取り組み。

②委員の方からの事前質問への回答

◎身延高校に入学した理由

- ・中3のときに、身延高校生が演劇の指導に来てくれたことがきっかけで身延高校と演劇に興味を持った。
- ・身延町梅平で育ち、小さいころから身延高校生を見てきた。大きな声であいさつをする身延高校生の姿に憧れを抱いた。

◎現在、最も力を入れていること

- ・部活動に力を入れている。2週間後の全国大会で良い結果を残せるよう頑張りたい。

◎コミュニティ・スクールとなった身延高校が、今までと違うと感じるところは何か

- ・コミュニティ・スクールは今年度始まったばかりであり、今年度は新型コロナウイルス感染対策のため保護者や地域の皆さんと交流する機会が減ってしまっている。しかし、これまでと同様に多くの方と挨拶を交わしたり、応援してもらったりしていると思う。

◎身延高校生として魅力ある学校にするには

- ・身延高校は挨拶ができる学校といわれているので、その良いところをもっと伸ばせるようにしていきたい。

◎身延高校生が地域貢献できることは

- ・家庭クラブが地域のイベントに参加し、地域の特産品を使ったものを販売することで地域や地域外の方々に広めることができていると思う。
- ・高大連携講座において、身延町の課題に高校生の視点から様々な取り組みを行っている。

③委員の方からの質問、意見、感想

[委員] コミュニティ・スクールでは生徒の皆さんが地域を支えるという部分と地域が皆さんを支えるという両面の関係を作っていくことになる。ぜひ生徒の皆さんが中心となりよりよい学校と地域にして欲しい。

[委員] 身延高校は連携型中高一貫教育校であるが、中学生と高校生の繋がりが持てたという例があれば教えてもらいたい。

(生徒) 中学生に部活動の指導をして競技の楽しさを知ってもらったり、大会での良い結果報告を受けたりしてうれしい気持ちになった。

[委員] 1時間の授業参観であったが、生徒と先生の距離が近いことと挨拶をしっかりしていることが実感できた。これを継続させていくことが必要だと思う。挨拶を小中学校や地域に広げていくためのアイデアを教えてもらいたい。

(生徒) 挨拶運動を毎年行っているが、校門前という場所から範囲をもっと広げていくことができれば地域の人にも挨拶をすることができ、町にも挨拶が広がっていくと思う。

[委員] 挨拶はとても大事なことであるのでぜひ頑張ってください。

[委員] 身延高校生がこの地域に期待することなどを話してもらいたい。

(生徒) 私は身延町が好きで、進学した後も地元に戻ってきたいと思っている。身延高校生は先ほど紹介した他にも地域貢献をしていると思うのでそれが表に出るような取り組みがあれば良い。

[委員] 身延高校生は身延町だけでなく、富士川沿いの各地から生徒が通ってきており身延町のことだけを考えるわけにもいかない。富士川沿いのこの地域が生徒の皆さんと一緒に解決すべき課題は何かということ、また地域の方々にコミュニティ・スクールとなった身延高校の皆さんの学びをよくするためにどんなことを協力して欲しいかということの両方を考えてくれるとありがたい。機会があればそのようなことをぜひ聞かせてもらいたい。

【第3部 協議会】

①会長あいさつ

コミュニティ・スクールになる前の中高一貫、それから総合学科等々、身延高校の歩みを自分の業務の傍らとしながら、職員の先生方と一生懸命に同窓会の力も借りながら進めてきた。改めてコミュニティ・スクールになることで、夢がかなうような方向に向かうのではないかと思う。今日は短い時間だが、忌憚のないご意見をいただきたい。

②校長あいさつ

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、第1回学校運営協議会は中止を余儀なくされ、紙面での議決とさせていただいた。本年度の学校経営方針、及び教育課程の編成については、紙面でお認めいただいたが、何かあればご意見等を頂戴したい。評価改善して来年度へと生かしたい。8月の中学生及び保護者を対象とした学校説明会において、本校の魅力、強みとして3点話をした。その中で、県内初の公立高校におけるコミュニティ・スクールであることを挙げて、学校運営や教育活動を、地域の人々の意見を聞きながら推進し、力強い支えと協力を得ることができる学校、地域とともにある学校であるということを強く発信した。

本日は授業参観そして生徒との懇談を通して、本校の教育活動の一端をご覧いただき、生徒の様子も見ていただく機会とした。

本校では、生徒にこれからの社会を生き抜くための力を身に付けさせたいと考えている。

授業においては、生徒が受け身ではなくて、主体的に学習活動に臨んで、自らから考えて、自分で調べ、或いは他の人の意見を聞きながら理解を深めて、課題解決に繋がるいわゆる深い学習、深い学びとなるような授業を実践するように努めている。

また、このような授業や主にキャリア教育を通じて、生徒が自らの考えを自分の言葉で表現できるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成することに力を入れている。さらに身延高校生として、自信と誇りを持ち、地域に貢献できる人材を育成することをも目指している。このような視点から、本日の授業参観や、生徒との懇談について忌憚のない意見、感想をお聞かせいただき今後の教育活動に生かしたい。

本校では「チーム身延」をスクールスローガンとして掲げている。これは校内の生徒と教師はもちろん地域の皆様にも一緒になってもらいチームとしての学校を目指すものである。

皆様方にはそれぞれの立場からご意見をいただき、本校の教育が目指すところの実現、また、本校のさらなる活性化、魅力づくりへとつなげていきたい。

③自己紹介

④議事

(1) 授業参観の感想

〔委員〕授業は総合学科らしい、独特の科目を拝見した。キャリア教育の一つの形だと思う。自分の言葉で普段から相手を思いながらプレゼンテーションをする訓練を積んでいるのだろう感じた授業であった。いかに相手に伝わるようにするかという工夫もすごく見えた。

〔委員〕久しぶりに、授業参観をして非常に勉強になった。少人数での授業が行われており、これが身延高校の取り組みということであった。卒業生がどんな学校へ行くのか、あるいはどんな職業に就くか、非常に楽しみである。

〔委員〕2年前に、キャリアセミナーに参加したが、非常にしっかりとした説明で、資料も細かく分かりやすいものを用意しており、最近の高校生はすごいという感想をもった。今日の授業は、そのような発表をするための準備ということでこれらを積み上げていってあのような発表になるのだと分かり非常に勉強になった。

〔議長〕今回参観した授業はプレゼンテーションのための準備段階であり、これが今後どうなっていくかということがイメージできるような話をしてもらいたい。

(学校) 先ほど2年前のキャリアセミナーのことについて話があったが、一昨年、昨年のキャリアセミナーで身延、南部の両中学校の2年生に対して、本校の1年次生の「産業社会と人間」の授業での職業人インタビューの内容と上級学校見学会の内容を発表した。今年度は上級学校見学会は実施できなかったため、職業人インタビューの内容をまとめたものを発表する予定である。クラス発表と年次発表を経て、キャリアセミナー、また2月の総合学科発表会へと続いていく予定である。この、職業人インタビューを通して自分の将来の夢を見つける生徒もおり、非常に重要な内容と取り組みである。

(2) 意見交換会の感想

〔委員〕意見交換では自慢できること・頑張っていることとして、挨拶がしっかりでき部活動にも勉強にもしっかり取り組んでいるということ話を話してくれた。実際私もその通りだろうと思った。むしろ興味深かったのは、その時はある程度前もって作った原稿を読み上げた感じであったが、そのあとの質疑応答を聞き、自分の言葉できちんと話せる生徒だということも改めて確認した。

今日は、1問1答式でやりとりをする程度であったが、ディスカッション能力をさらに高めるような質問に対して再質問をするという2、3回のキャッチボールができるようなことが今後できれば良いと改めて感じた。

生徒の発言を聞いて、規模が小さい学校であるが多様な人間関係がきちんとできる素地はあると感じた。

今回コミュニティ・スクールになったことで、その地域の課題を自分たちはどうとらえているか、地域の方々と一緒になって何ができるのかを考えて欲しいということ最後に宿題として出した。コミュニティ・スクールの一つの形として今回のような意見交換会が定期的に行けると良いと改めて思った。

〔委員〕今日話をされた6人はそれぞれ考え方をしっかり持ち、部活動でも活躍されている生徒であった。

〔委員〕生徒が自分の言葉でしっかり意見を言っていることに、正直驚いた。それから非常に先生と生徒の距離感が近いという生徒の意見もあり、学年の枠を超えたコミュニケーションも取れていて、非常にありがたいと思った。

〔議長〕非常に創造的な意見交換ができたのではないと思う。今後会議体ではないこのような意見交換が大事であると思うので、また実施を考えていただきたい。

(3) (4) 学校改善アンケート、授業改善アンケート

(教頭より学校改善アンケート、授業改善アンケートについて説明)

〔委員〕学校改善点検シートと授業アンケートは、非常に時間のかかるアンケートなのでぜひ実際に改善に生かせるようになれば良い。

小学校でスタートしている新しい学習指導要領では、学校評価をカリキュラムマネジメントと一体化するという話が出ている。もちろんこの点検評価をする課題を発見するための点検・改善シート型の学校評価も必要だが、子供たちに身に付ける力を起点にして実際そういうものが身に付いているかどうかということを先生方、保護者、生徒自身がお互いに評価し合うような場面があってもいいのではないか。

〔委員〕これだけのアンケートを実施し見える化しているので、どこを改善したらいいのかが非常にわかりやすい。生徒アンケートで、「学校へ行くのが楽しいと思える」という項目に4分の1の生徒が「あまり思わない・そう思わない」という回答をしている。この回答ができるだけ「そう思う・やや思う」へ向くように先生方に取り組みをお願いしたい。

(5) その他意見等

〔委員〕身延高校と南部町役場・南部町長との話し合いも持ってもらいたい。

(校長) 南部町長にも会って話をする機会を持ちたいと思っている。教育長、課長と会う機会があったので、そのような機会を数多く作りたい。

〔委員〕今日参加している委員の皆さんが、どのようなことを高校生と一緒にできるか考えていくかが大事である。例えばPTAの立場で、高校生と一緒に学校づくりや地域づくりに対して何かできることはないかなど。

今は部活動も学校単独というよりも社会体育と連携して行うという話が出てきているので、そのような可能性をここで議論してみる必要がある。その時に中学校、小学校との連携、要するに校種間、地域間、地域と学校の連携という両面をとにかく常に考えていく必要があると思う。地域を支えるということは、学校の所在地だけではなく自分が住んでる地域と両方を考えることである。その地域を支える活動の場をできれば地域の方から提供していただくというように徐々に活動を広げていくことが必要になってくると思う。

〔委員〕コロナ禍で感じたことだが、もっとICTを活用したリモート授業のようなものがあれば良い。アンケート結果にもあるが、家庭学習時間が少ないことが気になる。親の指導もあるが学校にも関わっていただきたい。

(校長) コロナ禍のICT活用に関して、遠隔授業もできる範囲で発信はしたがすべての授業が網羅できたわけではないので今後さらに努力をしたい。コロナ禍での経験が財産となっている。いろいろな場面で緊急事態が起こった時にもこれらの財産を充てて活用できるように努力するので協力をお願いしたい。

⑤連絡 第3回学校運営協議会について

【閉会】